



昨日までの自分を追い抜く!!

宍喰中学校マラソン大会



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **43** (2017.02)

おもな内容

防災公園基本構想決定	2P
議案審議	9P
一般質問	12P
行政報告	15P

突喰地区 地域防災公園基本構想が完成

現在、突喰地区において、津波災害が発生した場合には、同地区を通る唯一の幹線国道である国道55号が通行不能となり、海陽町内において突喰地区全域が孤立する状況となるため、対策を進めていくことが喫緊の課題となっています。

また、地域高規格道路「海部道路」はルート決定に向け、現在、調査・検討が進められていますが、その整備を最大限に活用し、大規模災害時における、防災拠点施設となる施設整備を進めていくことが求められています。

このことから、平成28年3月に「地域防災公園計画検討会」を設置し、特に、突喰地区について、平成28年12月まで3回にわたって検討してきた結果、今回「突喰地区地域防災公園基本構想」が完成しました。

【地域防災公園の位置について】

①津波浸水区域外であること ②突喰地区中心部の近郊であること ③海部道路ルート帯に近いこと ④地滑り防止区域外であること を条件とした結果、久保地区（県民グラウンド裏山）としました。

【必要な機能と規模について】

①避難所 ②応急救助機関の活動拠点 ③復旧活動拠点 資材置き場 ④ヘリポート ⑤物資集積所 ⑥仮設住宅 建設用地 の機能をもつものとし、面積は約2.3ヘクタールの規模とします。

【今後の予定】

基本設計を年度内に着手し、その後、用地買収や工事に係る詳細設計を行い、工事着工となります。この防災公園は、海部道路と連携することにより、一層、その整備効果が発揮されるため、今後も国・県と密に連携しながら、事業を進めていきます。



足立参議院議員が視察（津波避難タワーから）



防災公園予定地（突喰地区）

災害時も安心

簡易水道施設等に

「遠隔監視システム」整備

1億4500万円



中里制御盤



大井配水池



神野水源地

町

の管理する簡易水道施設等（8施設）に、国の補助制度を活用し「遠隔監視システム」を整備します。

この事業により、水源地・配水池の水位の状況などが常時監視でき、断水などの異常があった場合は、瞬時に担当者に通報されるため、今まで以上に水道利用者に安定した水の供給を図ることができま

大切なインフラに

町道・河川の災害復旧工事

2730万円

- ・普通河川西敷川 災害復旧工事 300万円
- ・町道玉笠線道路 災害復旧工事 370万円
- ・二級町道 浅川大山線道路 災害復旧工事 760万円
- ・二級町道浦上線 道路災害工事 700万円
- ・旧松田屋敷橋護岸 復旧工事 600万円



町道浦上線



町道大山線

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生部の2常任委員会、海南病院改革特別委員会を設置しています。本会議から付託された議案を12月12日、13日、14日に開催された各委員会で活発に審議をいたしました。

総務産業建設常任委員会

防 災公園着手

委員長 原 ひろみ

12月13日開会。

開会直後に、まぜのおか管理棟倉庫・交流棟を巡視し、担当者から説明を受けた。

委員会を再開し、上程議案18議案のうち所管の13議案について説明を受けた。

条例に関する議案は2件で、町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例。給与平均昇給率0.2%、賞与0.1ヶ月分の増額、平成29年度より段階的に配偶者扶養手当を減額し、子ども扶

養手当は増額となる。

育児休業の条例改正は、育児短時間勤務を取得可能とするもの。配偶者同行休業に関する条例改正は、再度の延長可能を追加するもの。

税条例の一部を改正する条例は、日本と台湾間で従来国際運輸業に係る所得に限ったほか、投資所得についても二重課税の問題を解消するもの。

まぜのおか管理棟倉庫・交流棟建築工事変更請負契約は、3719万円を追加するもの。
一般会計補正予算は、

歳入歳出予算の総額に2億3707万円を追加し、総額予算を76億8126万円とするもの。

歳入の主は国庫支出金8267万円、地方交付税3376万円、県支出金1308万円、町債1308万円、千年の命を守るまちづくり基金繰入金3800万円。

歳出の主は総務費など人件費として、職員給与、共済費に585万円。

企画費として旧海部中学校技術室の配水管を公共下水道接続、トイレ設置工事622万円。駐輪場撤去200万円。

電子計算費として県自治体情報セキュリティクラウドの負担金402万円。

農業費として明治大学サテライトオフィス開設地方創生連携社会コン

サートに86万円。
商工費として樫ノ瀬物産販売所冷蔵ショーケース30万円。観光施設修繕に183万円。

土木費の主は、宍喰防

災公園測量設計委託料3800万円。町道四方原五反田線の大雨水区内の嵩上げ改良と舗装工事延長160mに2000万円。

公園費として、まぜのおか球場テニスコート駐車場の区画線補修30万円。まぜのおか交流棟等の備品購入費に400万円。

公共土木施設災害復旧費5カ所で2730万円。

簡易水道事業特別会計では、クラウド型遠隔監視システム導入の施設整備費用として、総事業費1億4500万円を計上するもの。委員から、町管理されていない水道施設の数の問いに20カ所との回答があり、今後の人口減少や過疎地への対応策を考える必要があるとの意見が出された。

宍喰道の駅に洋式トイレと手指乾燥機の要望。フルマラソンの経費圧縮の要望。高齢者免許証自主返納者に対するサービスを町民にもっとPRを等、様々な意見があり協議が行われたが、概要は以上のとおりであった。
当委員会付託の電気設備工事・管設備工事の分離発注推進の要望の要望書は、継続審査とした。



まぜのおか管理棟建築状況巡視

き ゆうりたウ
ン「海部
高校魅力化」など
地方創生のための
サテライトオフィ
ス開設に伴い、マ
ンドリン倶楽部35
人により2月28日
に地域連携記念コ
ンサートを開催し
ます。

音楽とのふれあい 明治大学地域連携記念 社会コンサート開催

86万円



明治大学マンドリン倶楽部

地域活性化 交流施設整備

637万円

旧 海部中学
校技術室
を利用のため、
排水管を公共下
水道に接続、ト
イレ改修などの
工事費です。



整備される交流施設（奥浦）

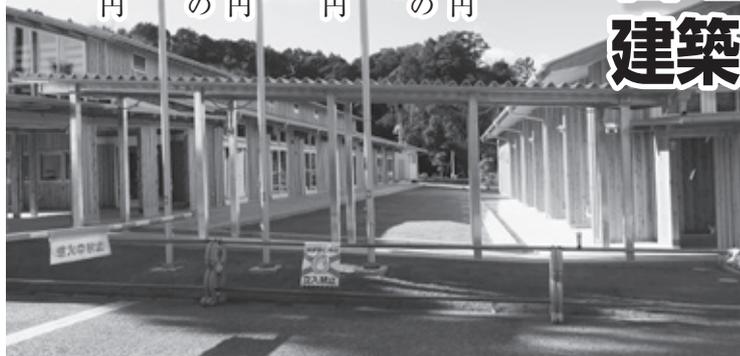
地域が元気に

いよいよニューオープン

まぜのおか 管理棟倉庫・交流棟 建築工事変更請負契約

3719万円

建築関係：1165万円
管理棟と交流棟への
通路屋根設置等
設備関係：623万円
外灯の追加等
土木関係：730万円
アスファルト舗装の
追加等
備品関係：1201万円
イス、テーブル
100名分等



追加された通路屋根

文教厚生常任委員会

教育施設を安全に

委員長 三浦 茂貴

12月12日開会。

宍喰中学校技術室、宍喰保育所、海部公民館の



海部公民館巡視

3施設の巡視を行った。委員より「宍喰保育所は雨漏り以外に中の方も傷んでいるので、この際に直してほしい」との意

見が出て「改めて設計委託業者と相談させていたきたい」という答えであった。

協議に入り国民健康保険条例の一部を改正する条例では、上位法令の改正に伴うもので海陽町では該当者はいない。

次に、一般会計補正予算の協議を行った。

まず、全体において人事院勧告による給与条例の改正に伴う人件費の追加があり、それ以外のもので**民生費7409万円**の主なものは、難聴者用のマイク、スピーカーセット51万円、宍喰保育所改修設計委託料263万円。

衛生費113万円の主なものは、那佐斎場の側溝などの整備に伴う大型作業機械借り上げ料58万円。



宍喰中学校技術室巡視

教育費1130万円の主なものは、宍喰、海陽両中学校の技術室耐震診断委託料589万円、海部公民館エアコン工事費450万円であった。

特別会計に入り、国民健康保険補正予算4318万円の説明を受け、人件費の追加と実績による見込みの不足分が主なものであった。

後期高齢者医療補正予算4万円は人件費の追加。介護保険補正予算1141万円は、人件費



二葉保育園の園児たち（鞆浦）

追加と実績による見込みの不足分であり、それ以外の主なものは制度改定に伴うシステム改修委託料199万円などであった。最後に、海南病院事業会計補正予算3万円減額の説明を受けた。

その他に入り、委員より「海部高校の将来的な分校化を阻止するため、町として構想はある

のか」という質問があり、教育長より「海外留学の幅を広げる等の子どもたちが集まりやすく、刺激を受けることのできるような施策を広げていき、魅力ある学校に近づけていきたい」との答弁があった。

他にも様々な協議は行われたが、概要は以上のとおりで閉会した。

安全を確かめる



海陽中学校技術室

実喰・海陽中学校 技術室の耐震診断 589万円

安心して安全な授業を行えるよう耐震診断を行います。

きれいに变身



改修される実喰保育所の巡視

実喰保育所改修工事 設計委託料 263万円

昭和63年に建築された実喰保育所の改修を行うため、設計委託します。主に屋根の葺き替え、保育室改修、外壁補修等を行う予定です。

難聴者向け、 正面の人によく聞こえる スピーカー



聞き取りやすい対応（イメージ）

マイクスピーカー 2台 51万円

高齢者担当や障害者担当の方が、海部庁舎の窓口に難聴者の方、会話を聞き取りやすくする、マイク、スピーカーシステムを導入します。設置場所としては海部庁舎と実喰診療所、今後要望があれば、設置場所や台数を検討します。

いつか必ず来る 震災に備えます



ダンボールで避難所の間仕切り

福祉避難所に備蓄品 80万円

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、避難所生活において特別な配慮を必要とする方を対象とする福祉避難所に、保存用レトルトおかゆ、ダンボールのベッド、間仕切りを、ジャンボ緑風会、特別養護老人ホーム海南荘、グループホームほかほか、グループホームまぜの里4カ所に配備します。

海南病院改革特別委員会

新 海部病院との連携

委員長 長岡 秀一郎

12月14日、開会。
県より参考人として島尾県病院局総務課長、竹岡海部病院事務局長を招致し、昨年より実施している**海部・那賀モデル**事業と、2017年開院予定の海部病院の件につき説明を受けた。

同事業は、県立病院を中心に町立病院、診療所の医師不足をどう補うかであり、現在海部病院からも数名の医師が本町の町立病院に派遣されている。今後は看護師の総合研修も検討していくとのこと。また、医師不足については地域枠医師で奨学金の貸与を受けた者は、一定期間地元で勤務することとなっており、平成21年度17人中12人が対象となっている。卒業生が平成29年度現場に配置され、9年間県内勤務

となり、そのうち3年間は海部病院、三好病院、半田病院の過疎病院での勤務となることである。平成30年以降は地域枠医師の人数も増えていく。また、南部総合診療プログラムで人材育成を計画しており、医師不足の解消に向け取り組みたいとの報告もあった。

海部病院については、平常時と災害時双方で南部医療の中心的な役割を担う病院として整備を進め、若手医師の養成拠点として地域医療、研修センターの設置や、ヘリポート2カ所同時発着可能なスペースを確保しているということである。また災害時には4階を利用し、災害対応等ICU機能充実し、電子カルテ等の利用も含めて県南の中核病院としての役割を果たしていきたいということである。

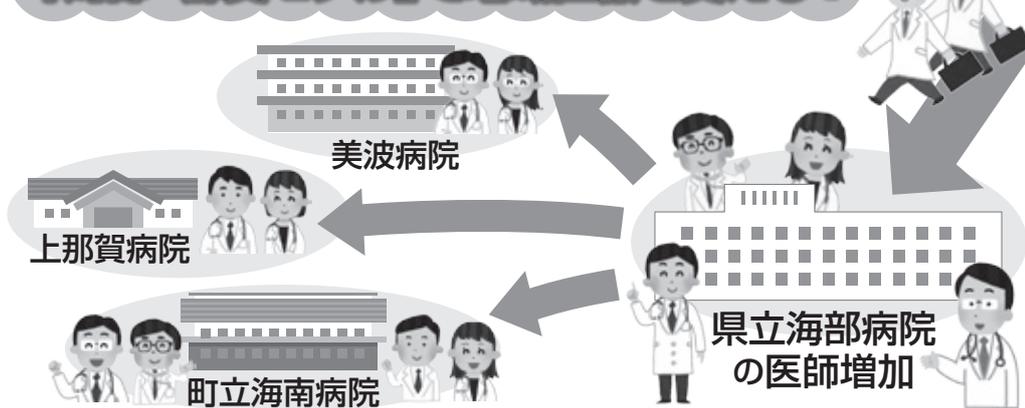
松田事務長より週別の医師配置について、そして28年度4月から11月までの外来・入院患者の実績、月別の診療報酬額の説明を受けた。医師の体調不良による休暇届が出ており、現在徳大や民間病院からの支援を受け、予定表を組んでいるとのことである。委員からは、医師の確保が大前提であるとの意見が多くを占めた。今後の見通しは大変厳しいという判断もされている。また、予算を増額予定の包括ケアの医師との採用交渉もまだまだ結論が出ていないという話もあった。17年度海部病院の開院までに、回復期と療養期の患者受け入れ体制を作らないと、収入増は望めないという意見もあった。このような状態で、来年も同じような状況であれば住民の理解はないと思う。3月当初補正でどれだけ繰入が出るのか、住民も動揺すると思うと心配する意見もあった。

現場に対しては、医師の確保に向けさらなる努力を期待して委員会を閉じた。

前回の院長の「海南病院の赤字の原因は医師不足が一番である」

との意見について、今後の展望を整理してみました。

「海部・那賀モデル」で地域医療を支える！



平成35年より毎日医師の4人派遣を計画中(案)

現在は、徳島大学病院・民間病院から
応援支援に来てもらっています。



県立の海部病院も医師不足…

県が地域医療を担う医師養成・確保のため、特別地域枠医学学生奨学金制度(毎年12人)を始めている。卒業後、県立など3病院で医師として診療活動。

本議会での議案審議

職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

Q1. 配偶者同行休業



長尾議員

配偶者同行休業が3年で1回延長できるということは、最長で6年休業できるといふことか。

佐藤総務課長

休業は3年間に限られる。3年の期間内で1回延長できたが、今回さらにもう1回延長できるようになる。

平成28年度一般会計補正予算(第5号)について

Q2. 開票事務補助員報償費



三浦議員

選挙の開票事務を一般の住民に任せることはできないのか。

前田町長
細心の注意を払わないといけないので、事務に慣れている職員が最適と考える。

〔50万円減額〕

Q3. 二葉保育園運営委託料



長岡議員

二葉保育園の園児が13人増えたが、理由は。

浦川福祉課長

当初予算からの増加は、町外からの転入者が4人。当初自宅で子どもを見ていた方が5人。他の保育所からの移動が4人である。

〔905万円〕

Q4. 公園費業務委託料



高島議員

600万円減額は何か。請負費600万円はどういう改修をするのか。

〔600万円〕

横産業観光課長

減額は業務委託料と工事請負費の組み替えのため。改修はコテージの空調改修等の工事が当初より増額となったため計上した。

Q5. 難聴者用スピーカーマイク



小山議員

難聴者用のスピーカーマイクを置くのは海部庁舎だけか。

福祉課長

機械も開発されたばかりなので、金額や性能を見極め進めていきたい。

〔51万円〕

平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について

Q6. 地域介護予防活動支援事業



原議員

短期宿泊事業とはどういう事業か。

〔34万円〕

中野地域包括ケア推進課長

一時的に在宅生活が困難になった高齢者等の短期宿泊事業。

意見書

○ 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

議員を志す新たな人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する

提出者 池下 嘉郎

○ 参議院選挙における合区の解消に関する意見書

合区による選挙制度を見直し、法律のみならず憲法の改正も視野に入れて、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを速やかに構築されるよう強く要望する。

提出者 三浦 茂貴

議会で審議の結果、異議なく採択しました。



祝 見吉 政貴 議長

徳島県町村議会の会長に就任しました。



議会のうぶき

10月1日から
12月31日まで

10月

- 7日 議会広報編集特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 国土交通省要望活動（東京都）
- 13日 四国町村議会研修会（高松市）
- 17日 第6回臨時会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 27日 四国8の字ネットワーク整備促進大会（安芸市）
- 28日 海部郡・安芸郡議長連合会要望活動（高知市）

11月

- 9日 議長全国大会・研修会（東京都・つくば市）
- 12日 未知フォーラム（海陽町）
- 15日 海部郡議員研修会（海陽町）
- 22日 四国8の字ネットワーク要望活動（高松市）
- 29日 四国8の字ネットワーク要望活動（東京都）

12月

- 6日 議会運営委員会
- 6日 議会全員協議会
- 8日 那賀・海部議長会（美波町）
- 12日 第4回定例会（1日目）
- 12日 文教厚生常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 総務産業建設常任委員会
- 14日 海南病院改革特別委員会
- 16日 第3回定例会（2日目）
- 19日 議会広報編集特別委員会
- 20日 県議長会臨時会（徳島市）
- 21日 四国横断線期成同盟会要望活動（高松市）
- 22日 徳島県女性議員連盟研修会（徳島市）

第4回定例会

議案の審議

平成28年第4回定例会は、12月12日開会、町長より18議案、議員発議2件が提出され、審議の結果原案どおり可決し、12月16日閉会した。

条例関係

- ・ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告による職員給与の改正
- ・ 条例の一部を改正する条例
- ・ 所得税法等の改正に伴う改正
- ・ 所得税法等の改正に伴う改正
- ・ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・ 所得税法等の改正に伴う改正

契約関係

- ・ 平成27年度までのおか管理棟倉庫・交流棟建築工事変更
請負契約
変更前契約額 1億7798万円
変更後 2億1518万円

予算関係

- ・ 平成28年度一般会計補正予算(第5号) 2億3708万円↑
- ・ 平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 4200万円↑
- ・ 平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 4万円↑
- ・ 平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号) 1142万円↑
- ・ 平成28年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 4万円↑
- ・ 平成28年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 107万円↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

12月補正予算後の 歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億6,313万9千円	8.6
地方譲与税	0	5,780万円	0.8
利子割交付金	0	40万円	0.0
配当割交付金	0	700万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	450万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億4,030万円	1.8
自動車取得税交付金	0	720万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地方交付税	3,376万3千円	39億4,831万9千円	51.4
交通安全対策特別交付金	0	110万円	0.0
分担金・負担金	0	7,475万円	1.0
使用料・手数料	0	6,741万8千円	0.9
国庫支出金	8,267万2千円	5億9,351万5千円	7.7
県支出金	1,308万3千円	5億9,063万4千円	7.7
財産収入	480万円	5,366万円	0.7
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	3,825万円	3億8,359万7千円	5.0
繰越金	0	8,238万5千円	1.1
諸収入	941万円	1億1,061万3千円	1.4
町債	5,510万円	8億9,343万3千円	11.6
合計	2億3,707万8千円	76億8,126万3千円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議会費	1万6千円	7,091万2千円	0.9
総務費	1,064万5千円	10億5,027万2千円	13.7
民生費	7,409万2千円	18億6,516万6千円	24.3
衛生費	113万円	7億2,237万7千円	9.4
農林水産業費	924万6千円	5億7,868万8千円	7.5
商工費	221万円	1億9,006万8千円	2.5
土木費	7,388万2千円	9億3,515万9千円	12.2
消防費	25万1千円	5億2,060万3千円	6.8
教育費	1,130万6千円	8億1万円	10.4
災害復旧費	5,430万円	1億2,590万円	1.6
公債費	0	8億639万8千円	10.5
諸支出金	0	376万円	0.0
予備費	0	1,195万円	0.2
合計	2億3,707万8千円	76億8,126万3千円	100.0

- ・ 平成28年度穴喰公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 11万円↑
- ・ 平成28年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 53万円↑
- ・ 平成28年度川西簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 6030万円↑
- ・ 平成28年度海部簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 1358万円↑
- ・ 平成28年度中里簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 2490万円↑
- ・ 平成28年度川上簡易水道事業特別会計補正予算(第3号) 4630万円↑
- ・ 平成28年度上水道事業会計補正予算(第2号) 8万円↑
- ・ 平成28年度海南病院事業会計補正予算(第2号) 3万円↓

議員発議

・ 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
議員を志す新たな人材確保のため年金制度を時代に相応しいものにするを強く要望する。

・ 参議院選挙における合区の解消に関する意見書
合区による選挙制度を見直し、都道府県単位による代
表が国政に参加する仕組みを速やかに構築されるよう強
く要望する。

第6回臨時会

議案の審議

平成28年第6回臨時会は、10月17日開会、次の1議案
が提出され、審議の結果原案どおり可決し、同日閉会した。

予算関係

- ・ 平成28年度一般会計補正予算(第4号) 3378万円↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

ふるさと納税プロジェクトチームを作れば？



三浦 茂貴 議員

〈町長〉事務分掌の見直しの中で精一杯努力していきたい

問 ふるさと納税について、どのように制度を活用して、どのようなPRに努めてきたのか。

答 佐藤総務課長

9月の初旬よりクレジット決済できるようにしている。また、返礼品のランク分けを行うとともに、海陽町ホームページ、ふるさとチョイスなどにPR案内している。

問 現時点で今年度の寄付額はいくらか、今後の展開は。

答 総務課長

12月13日時点で61件、168万5000円。今後もクレジット決済、返礼品のランク分けなどを更に充実させていきたい。

問 年間約200万円のふるさと納税額だったものが、職員研修に行き町主導で約1年後には11億円を突破した町がある。海陽町も、

職員を募ってプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

答 前田町長

職員も現場に行くと、刺激を受けるといことが第一である。視察等を考えなければいけないが、一人二人の職員に専任させることは、なかなか今の時点では厳しく、事務分掌の見直しの中で精一杯努力をしていきたい。

奈半利は13億を超えている。町民が胸を張って都会の自分の子どもや知り合いに勧められるような、海陽町のふるさと納税制度を作ってほしい。



3万円以上の返礼品

般

質

問

子どもたちの英語力はどの程度上がっているのか？

〈教育次長〉数値的な評価は行っていない

問 現時点で、子どもたちの英語力はどの程度上がっているのか。あと6年で英会話ができるようになるのか。

答 池内教育次長

数値的な評価は行っていない。6年後英会話ができるようになるのは非常にハードルが高い。

問 徳島県も中学生を対象に英語能力判断テストを毎年行い、今後どの程度英語力が向上していくかを見るそうである。現状の海陽町は評価と改善がされていない。英検ジュニアやTOEIC、また独自の判定テストなどを子どもたちに受けてもらい、評価、改善をする必要があると思うがどうか。

答 岡田教育長

受験料の補助体制など必要である。教員等が他の学習とともに英語に関する評価も見ていくらと思う。

問 次のステップでは、勉強した英語を使える場を子どもたちに提供してあげる必要がある。県が行っている英語村に海陽町の子どもが参加

4年前から海陽町独自に始まった幼児や小学生への英語教育、10年間で結果が出るようにということであった。

しやすいように助成したり、町独自で外国人の子どもと触れ合えるような事業を展開するなど、まずは手近で利用できる事業への補助を考えればと思うがどうか。

数年後に魅力ある留学事業をすると明言している海部高校を地元の子どもたちに選択してもらうために、地元小中学生に対する今後の事業展開を聞きたい。また、目標になる海部高校の海外留学を来年度から実施できるのか聞きたい。

答 教育長

英語を話す機会については英会話カフェや土曜学習で計画しているし、利用できる事業への補助体制はできるだけ視野に入れている。

海部高校等、中学生も含めた交流事業や支援施策、海外派遣なども29年度から進めていきたい。

教育とはその子の未来をつくる投資である。町の基本方針に沿って、早急に進めていただきたい。

橋梁の老朽対策は



小山 慎 議員

〈町長〉積極的に取り組んでいく

問 現存する橋梁の多くは、高度成長期に架けられたものであり、経年劣化による損傷が進んでいる。本町では、橋梁の長寿命化修繕計画を策定しているのか。また、町管理の橋梁の数はどうか。

答 東谷建設課長
平成25年2月に橋長が15m以上の65橋について策定している。

問 穴喰地区に中角橋がある。築年数は古く、現在の状況は、高欄は錆びて腐蝕が著しく一部が垂れ下がっている。通行規制はしているものの、高欄越しに川を見ている人もおり、非常に危険な状態である。このまま使うのであれば、早急な対策を講ずる必要があるが、今後の対策は。



通行止めされた中角橋

答 建設課長
平成29年度に、国の補助事業である社会資本整備交付金事業として、橋梁補修修繕のための設計費を要望している。しかし、橋梁の下部工の脆弱な基礎形状から耐震性等を考えた場合、選択肢には、撤去を含めた検討が必要と考える。同時に、非常に危険な状況であるので、町民の方に周知の上、通行止めとする。

問 橋梁の老朽化対策としての観点からも重要施策として位置づけられる。今後積極的かつ計画的な取り組みを進めていくべきであると考えますが、町長の考えはどうか。

答 前田町長
橋梁は、発災後に避難者が安全な場所に避難するための避難路になる。橋梁の耐震化や架け替え工事は、落橋による地域や町全体の孤立化を防ぐためにも計画的に行っていくべきである。今後重要な施策として、積極的に計画的に取り組んでいく。

墓地条例が必要

〈保健環境課長〉
来年度からの施行に向け体制づくりをする

問 近年は少子化、核家族化、生涯未婚率の上昇といった世帯構成の変化により、お墓を引き継ぐ人がおらず、お墓が管理できなくなってきた。町管理の墓地は何かあるのか。また、その管理はどのようにしているのか。

答 長江保健環境課長
町管理の墓地は穴喰地区の松原墓地、三本松墓地の2カ所。年1回お盆前に草刈り等の管理を行っている。

問 跡継ぎ等の問題で、移設されている区間の中には墓石は無く、雑草が生い茂っているところも見受けられる。町の使用規定では永代使用とあるが、実際は墓石も無く規定違反の状態である。近隣の迷惑となるような場合、使用許可を取り消すなどの対応はできないのか。

答 保健環境課長
現在の使用規定では近隣に迷惑となっていない場合は、使用許可を取り消すことができる。しかし、その使用者を特定できない状況である。今後は台帳の再整備を進め、できるかぎり使用者を特定して適正に管理をしていただけよう指導していきたい。

問 現在の使用規定は平成19年のものであり、以前と現在の実情は変化している。規定という取り決めではなく、町管理の施設だからこそ必ず守らなければならない決まりが必要である。条文も十分精査し、条例として制定する必要があるが、町長の考えはどうか。

答 町長
担当課に指示をしている。

答 保健環境課長
他町の条例や関係法令等を研究し、来年度から条例ができるように体制をとっていく。



長岡 秀一郎 議員

問 巨大地震・津波が想定され、宍喰地区は孤立することが考えられる。一次避難場所と併せ、二次避難のできる高台用地

の確保が喫緊の課題である。宍喰防災公園検討会で、位置決定等、基本構想をとりまとめたとのことであるが、その内容は、

答 東谷建設課長

大規模災害時における応急救助対応や、復旧・復興に向けた拠点。また救援物資や生活必需品の輸送拠点として海部道路と連携した防災拠点となるよう整備を進めたい。

問 今後、議会の声はどの段階で反映するのか。

答 建設課長

設計に入る前の段階で必要だと考える。

問 防災公園は二次避難場所の確保である。検討されている海部道路宍喰インターとの関連は進ん

でいるのか。

答 前田町長

国・県・町が連携を密にして、防災公園から高規格道路へのアクセスができるような取り組みをやっている。

問 海部道路(海陽町内)はインターが他に2カ所

設置される計画である。他にも防災公園の計画はあるのか。

答 町長

町内での防災公園の計画は、あと2カ所ある。

問 事業実施にあたり、時期をみて地域住民に説明する機会を設けてはどうか。また事務量が増えると考えますが、プロジェクトチームで対応してはどうか。

答 町長

宍喰地域への説明会は、防災公園の場所が決まれば開催する。事務量も増えてくるが、事務分

掌見直しの中で検討する。

問 町村別備蓄量計画の内容、量、場所、管理方法。また発災時、各避難場所に配布する方法は設定されているのか。

答 片田危機管理課長

計画内容は発災後1日目は家庭・地域、2日目は町、3日目は県で準備する。備蓄品は一般食9600食等を備蓄しており、飲料水等計画に満たないものは、順次整備を進める。三庁舎、海部高校、海陽・宍喰中学校、海南・海部小学校、防災館に配備。現在は長期の避難所となる場所に配置しているが、今後は他の場所へも考えていく。

問 自主防災組織の活動状況は。

答 危機管理課長

避難訓練等が13回実施されている。内容は避難訓練、備蓄倉庫の確認、避難路の清掃、研修。地

域により活動内容や意識に差がある。

問 社協は年間10件前後の自主防に助成金を出し活動を促している。町も一定の補助金を計上し、事前審査をして、活動する組織に支援する考えはないか。

答 町長

社協との話し合いも持ち連携を深めながら、他の先進地事例も参考に検討していきたい。

問 学校現場における防災教育について。

答 岡田教育長

今年新たに教育大綱を策定し、防災教育は重点施策と位置づけている。

問 各戸に配布された冊子「釜石の奇跡」の中で「子どもたちに対する防災教育は5年から10年の期間で取り組むことで、地域の防災文化が根付く」と述べている。また学校に

おける避難訓練と地域連携についての考えは。

答 教育長

自主防災組織の避難訓練等に学校行事を合わせて積極的に進めたい。

問 町は防災訓練に子どもたちが率先して参加し、大人と一緒に行動できるよう、時間を変えられることはできないのか。

答 町長

地震が起こった時には辛くても逃げなくてはならない。早朝にするのは喚起させる意味においても一つの方法だが、検討はしたい。



浄福寺裏山避難路の清掃活動

防災公園と海部道路の関連は

〈町長〉国・県・町で連携を密に取り組む

防災公園基本設計着手

町長 前田 恵

12月に入っても暖かい日が続いていたが、やっと師走らしい毎日となってきた。

宍喰地区では、南海トラフ巨大地震の被害想定等をふまえ、これまで緊急避難場所や津波避難タ

ワー、避難路等の整備を進めてきた。しかし、二次避難場所の確保や仮設住宅の候補地については、浸水想定範囲の広大さや適地の不足等から未だ十分な状況にあるとは言えず、対策を進めることが喫緊の課題となっている。

宍喰地区住民の二次避難場所となる防災公園について、5月から検討会を行ってきたが、第三回の検討会をもって終了し、基本構想をまとめたところである。

阿南安芸自動車道・海部道路はルート決定に向け調査・検討が進められている。事業効果を最大限に活用し、大規模災害時における応急救助対応や、復旧・復興に向けた拠点として、また救済物資や生活必需品の輸送拠点として機能する施設整備を進めていくことが求められている。このような状況から、宍喰地区防災公園整備を、町の最上位計画である地域強靱化計画及び地域防災計画にそれぞれ位置づけした。

地域防災公園と海部道路の連携が必要不可欠であることから、千年のいのちを守るまちづくり基金を活用し、宍喰地区防災公園基本設計に着手し、国・県と連携しながら検討を進めていく。



海部道路要望活動（石井国土交通大臣）

海部道路の要望で必ずお願いしていることがある。それは海部道路は「命の道」であるということ。

町民の命を繋ぐ道なのである。一日も早い事業化・完成が望まれ、待たれている。

南海トラフ巨大地震が発生した時、国道55号一本の海陽町はどうすればいいのか。四国の右下に暮らす我々だけが、高速道路も無い現状をいつまで受け入れ続けなければならぬのか。そういった強い思いの中で機会あるごとに四国地方整備局へ出向き、上京し、

精一杯の要望活動をしている。

ふるさとづくり寄付金

関係では、12月6日現在で寄付件数48件、寄付総額129万5000円となっており、昨年より19件、金額で14万2000円多くなっている。

平成28年11月30日現在の住民基本台帳による海陽町の人口は、男4633人、女5229人の計9862人。65歳以上の人口は4207人、高齢化率42・66%となっている。

10月13日、神野地区における今後も生き生きと暮らせる生涯活躍のまちづくりについて、徳島大学の田口准教授をお招きし、住民ワークショップによる検討会議が開催された。今後、神野地区の住みよいまちづくりについて、話し合いを重ねていく予定である。

民生・児童委員の改選

期で、11月30日をもって17人の民生委員が退任された。長期間にわたり海陽町の地域福祉向上のため、お力添えをいただいた。退任される民生委員の方々に感謝とお礼を申し上げるとともに、新しく委員になられた方には、今後ともよろしくお願い申し上げたい。

海南病院問題、阿佐海岸鉄道へのDMV導入に関すること等、まだまだたくさんの方の行政課題はあるが、一つ一つ課題解決に向け、懸命の努力を続けていく所存である。



成人式あいさつ（2017.1.2）

活動内容を教えてください。

家庭婦人9人制バレーボールを、毎週木曜日の20時～22時まで、海陽中学校体育館で少ないながらも練習しています。(但し都合でお休みの日もあります) いつも笑いの絶えない明るいチームです。現在部員は20代30代…の合計16人ですが、育休中など様々な理由でなかなか練習に出てこれられません。練習相手がほしいので老若男女関係なく、ぜひ遊びに来てください。



全力でプレーします!!

海陽町のいいところは?

自然豊かで、人があたたかいところ。



ナイスレシーブ!



ブロック!!



(橋本)

海陽町に対する要望はありますか?

生活面では、町内すべての場所で携帯電話が繋がるようにしてほしい。そして、海南病院の診療の充実化。(小児科、外科など…)

観光面では、「サーフィンの町」をもっとアピールして、観光客や移住者が増えるような環境を整えてほしい。まさに今がチャンス、このビッグウェーブに乗り遅れないように!

議会だよりを読んでいますか?

もちろん! 隅から隅まで読んでいます。

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。本年も皆さんが健康で幸せな一年となるよう、心からお祈りしております。

元号が変わりそうです。「平成」は終戦詔書を書いた人が前もって用意していたという話ですが、今度は何? 誰が...? 海に向こうのニューリーダーは、我々にとってエースなのか、ジョーカーなのか、まだ分かりません。分からないことが多いほど人生は楽しいと言いますが、議会広報は分かりやすく読みやすいことをモットーに編集しています。